

平成28年度 モニタリング報告書

施設名	京丹後市大宮農産物加工直売施設	
指定管理者	名称	有限会社丹後路たにうちファーム
	代表者	代表取締役 川村 嘉徳
担当部課	農林水産部 農政課	

1 利用状況

項目	前年	計画数値	実績数値	備考
営業日数	309	307	307	
利用者数	4,085	4,050	3,480	

2 事業収支

(単位：千円)

項目	前年実績 (A)	事業計画 (B)	実績 (C)	対前年比 C-A	対計画比 C-B	備考
販売収入	10,183	10,000	8,450	△1,733	△1,550	
その他	117	150	107	△10	△43	
指定管理料	0	0	0	0	0	
収入計	10,300	10,150	8,557	△1,743	△1,593	
売上原価	4,160	4,200	3,534	△626	△666	
事業費	2,634	2,450	1,923	△711	△527	
人件費	3,419	3,500	2,916	△503	△584	
支出計	10,213	10,150	8,373	△1,840	△1,777	
収支差引	87	0	184	97	184	

3 指定管理者制度導入効果 (市直営では実施できなかったと思われる効果的・効率的業務改善内容など)

平成28年度は、朝市への出品数が少なくなったこと、また京丹後大宮IC供用開始(10月30日)により交通量が減少したこともあり、利用者数・販売収入ともに計画数値を下回った。事業収支は、支出が抑えられたこともあり、前年に引き続き黒字となった。施設の管理状況も適正に管理されており、収支のバランスも保たれた事業運営がされており、民間活力導入による効果があったと考える。

4 総合評価

地域農産物の加工及び直売や地域農場づくり活動及び地域活性化活動の拠点とする農産物加工直売施設として、概ね業務水準に定める水準を満たし、地域の活性化に寄与している点は評価できる。

ただ、例年ならば、かにを主なターゲットとした観光客で前面道路がにぎわう冬季観光シーズン(11月～1月)の利用者数の落ち込みが目立つなど、京丹後大宮IC供用開始で人の流れが変わった影響もあり、今後の利用促進策が課題となる。